

なごむ 和

なごむ
小田原市



地域公民館紹介

15

寄木戸南公民館



yorikidominami kouminkan. yorikidominami kouminkan. yorikidominami kouminkan. yorikidominami kouminkan. yorikidominami

はなみずき通り

寄木戸南公民館の特徴

地域活動の拠点として、各種団体などによる交流活動の場となっています。役員は17人で町や地域の行事の中心的な役割を担い参画しています。

特に力を入れている事業

通年行事の大泉まつりや区民納涼祭、町民体育祭は地域に住む多くの皆さまのご協力をいただく地域ぐるみの活動です。

8月に行う区民納涼祭は大人や子供300人が参加します。また、地域の世代間をつなぐ事業として、地元農家から教わる親子農業体験教室を計画しました。体験通じて、地域の食や歴史を学び、次代が地域のことを知ることができきる機会となればと考えています。

その他（地域住民の皆さんへのメッセージなど）

地域の方々とのイベントを通じて交流を深めていき、あたたかく住みやすい地域を皆さまと一緒につくっていきたいと思っています。

寄木戸南公民館長 小沼康行

あなたの故郷(ふるさと)はどこですか？

日本全国ふるさと発見!!

埼玉県大宮市②

(現さいたま市)

◆おすすめの観光地は

どこですか？①

〈氷川神社〉

氷川神社は、さいたま市にある神社で、東京都・埼玉県近辺に約200社ある氷川神社の総本社です。他の氷川神社と区別する際は「武蔵一宮氷川神社」「大宮氷川神社」とも呼ばれます。神社の境内は見沼の畔に立ち、もとは見沼の水神を祀っていたと考えられています。

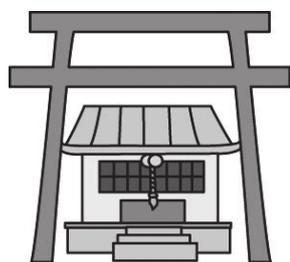
「大宮」という地名は氷川神社が「大いなる宮居」と呼ばれていたことからついた地名です。参道では、毎年12月10日に「十日市」とおかまぢ(ち)という祭が開催され賑わいます。この祭典は西の市の規範とも言われ、当日は出店が数多く並び境内を賑わせます。

正月三が日の初詣は、例年の参拝者数は210万人にもなり、埼玉県内で

はダントツ1位の規模を誇ります。

そして、結婚式も執り行えます。

参進の儀では四季折々の景色が美しい参道を巫女の案内で挙式場まで進み、雅楽の生演奏もある古式ゆかしい挙式です。23年前、神前結婚式を挙げた思い出の地です。



〈鉄道博物館〉

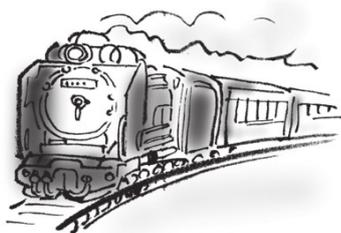
鉄博(てつぱく)の愛称で知られています。JR東日本の創立20周年記念事業として平成19年に開館しました。現代に至るまでに活躍した実物の鉄道車両が展示されており、ま

た運転の類似体験ができるシミュレーターや日本最大級のジオラマは鉄道ファンだけでなく、多くの見学者の人気施設となっています。実際、私も子どもが小さかった頃に度々訪れました。

特に楽しかったのは「ミニ運転列車」です。博物館の外にある芝生と木々を配したコース(一周300m・線路幅600mm)を、長さ約2.4m、幅約1.2mの3人乗りミニ車両で運転できます。「万世橋」「飯田町」「汐留」「両国橋」駅を巡ることのできる体験展示です。

コースの途中にはカーブによる減速や、ポイントの速度制限、先行列車による開通待ちなど、実際の運転シーンが展開され、子どもは自分が運転手になります。

(22区M)



ぼくとお母さん



南小2年
新井 泰成

ぼくとおかあさんは、すきなものがにっています。ぼくはりょうこうがすきで、おかあさんはおんせんがすきです。

ぼくとおかあさんは、サツカーのアニメがすきで二人でいっしょに見ます。

ぼくとおかあさんは、気も合います。二人ともお肉がすきで、やき肉の話でもりあがります。

でも、おかあさんは、おこるととてもこわいです。しゆくだいをしなかつたり、やくそくがまもれないと、とてもおこります。おこられたことをつぎはま

もれるようにしようと思えます。ぼくは、おかあさんから生まれてきてよかったと思います。

なぜかというと、おかあさんは分からないことがあるとなんでもおしえてくれて、やさしいからです。

ぼくは、おかあさんがとっても大好きです。

すよつとい話

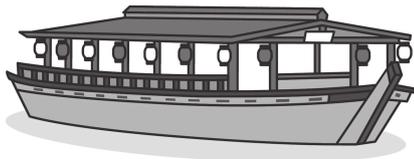
先月、町内育成会旅行に長男と一緒に参加しました。

最初に池袋の防災館へ行き、震度7などの地震体験や、先の見えない煙の中の移動法や消火訓練を体験！

次に、屋形船でのもんじゃ焼き食べ放題。子どもたちは、こんなに注文して食べきること、心配をよそに普段経験できない船の上でのこと、波で揺れても食べる方に集中、凄かった。

その後は葛西臨海水族館。私は「フーン！」といった感じでサツサと一回り。子どもたちが中々来ないので、戻ってみるとマグロの水槽前で係員の説明を真剣に聞いていました。

家族では中々行けない所ばかりで、特に長男は地震体験やもんじゃ焼きが楽しかったようです、参加したことにより、楽しい思い出ができました。



＜大泉町公民館 生涯学習講座＞

Trumpet Concert

～トランペットの音色を聴いてみよう～

日時 平成31年1月13日(日)

開演 午後2時(午後1時30分開場)

場所 大泉町公民館 ホール

出演者

太田市民吹奏楽団
トランペットパートのみなさん

●定員 100名

●受講料 無料

※町公民館で12月11日から配付する入場整理券をお持ちください。

※休館日(12月29日(土)～平成31年1月3日(木))を除く

[演奏予定曲目]

♪カルメンより第一幕への前奏曲

♪宇宙戦艦ヤマト

♪ジブリメドレー ほか

※曲目は変更になる場合があります。

問い合わせ：大泉町公民館 大泉町大字吉田2465 電話0276-62-2330

●大泉町子ども会

上毛かるた大会



町内、各子ども会の代表選手が、群馬県の郷土かるたである「上毛かるた」で競いあいます。冬の寒さを吹き飛ばすような、子ども達の熱戦にたくさんの声援をお送りください。

■日時 平成31年1月6日(日)

開会式 午前8時30分

競技開始 午前9時より

閉会式 午後4時00分(予定)

■会場 いずみ総合公園 町民体育館

■競技種目

●小学生の部

・低学年団体戦(1~4年)・団体戦(1~6年)

・低学年個人戦(1~4年)・個人戦(1~6年)

●中学生の部

・団体戦・個人戦

■主催 大泉町子ども会育成連絡協議会

平成30年度 社会教育講座

コミュニケーションの秘訣をお伝えします。

コミュニケーションの秘訣をお伝えします。

キャリアコンサルタントが伝える聴き方・話し方講座

コミュニケーションをもっと上手く図りたいとお考えの皆様。
今回の社会教育講座では、話の伝わる「話し方」、「聴き方」のコツをお伝えします。家庭、隣近所のつきあいはもちろん、会社や団体活動でも活用できます。

皆さん、是非、ご参加ください。

平成31年1月20日(日) 午前10時～正午

場 所：大泉町公民館 ホール

対 象：どなたでも参加できます。

定 員：60名(先着順)

参加費：無料

講 師：ぐんま若者サポートステーション
唐沢文彦氏

お申し込み・問い合わせ先

12月10日(月)から平成31年1月15日(火)までにお申し込みください。(12月29日(土)～平成31年1月3日(木)の休館日は除く)町公民館へ直接、電話、FAX、または町ホームページから申し込みください。

大泉町公民館

TEL：0276-62-2330 FAX：0276-62-7550

町ホームページ (http://www.town.oizumi.gunma.jp)

平成30年度 青少年リーダー養成講座
「ふれんどりい くらぶ」

これでおめいも
パン職人?

パンで作ろう! クリスマスリース

♪日時 12月23日(日)

入場：午後2時00分～

開講：午後2時15分～

♪場所 大泉町公民館 実習室

パーティにぴったり、シェアして美味しい♪
パンでクリスマスリースをつくってみませんか?
パン作りなんて自分1人じゃできない...と思っているそこのあなた!
フライパンを使ってお家でも簡単に作れる方法を習得できます。
みなさんお気軽に参加ください!!

講 師 深町 恵さん
対 象 中学生～20代の方
受講料 500円(材料費として)
定 員 12名(定員になり次第、締切となります)
持ち物 ハンカチ・エプロン・筆記用具・バンダナ・スリッパ
※公民館ではスリッパを取りそろえておりませんが、必ず各自ご持参ください。

【申込方法】

平成30年12月14(金)までに、大泉町公民館へ直接ご来館のうえ、材料費を添えてお申し込みください。

問合せ先：大泉町公民館 ☎0276-62-2330

主催：大泉町公民館

こちら大泉町公民館です

◆町公民館および南別館、年末年始休館と5時閉館のお知らせ!

12月28日(金)は、午後5時閉館、12月29日(土)から1月3日(木)までは、休館とさせていただきます。

1月4日(金)は、午後5時閉館、1月5日(土)からは通常通り開館いたします。
なお、12月28日(金)と1月4日(金)は館内点検日のため、部屋の貸し出しは行いません。南別館内の住民活動支援センターは、この2日間は通常通りの業務時間となります。ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

◆新刊図書のご案内!

●直木賞受賞

『ファーストラヴ』島本理生

●芥川賞受賞

『送り火』高橋弘希

◆今年一年「和」をご愛読いただき、ありがとうございます。

◆「いがべり」さん、「ゆうゆ」さん「さくら」さんより一年間、「和」の表紙を飾る陶芸写真を提供していただきました。
紙面編集にご協力いただき、本当にありがとうございます。

街は活気に溢れていた。大人達はみんな若かった。昭和四十年代の師走。商店からは演歌とサンタが流れ、赤ん坊はねんねこの中、夜の帳を蛍光灯が浮かび上がらせ、クラクションを鳴らしてトラックが行く。
あの頃のみんなは何処へ行ったのだろう。今よりもずっと食したたはずなのに、みんな輝いていた。
<好>

編集委員会でも話題となった「シャインマスカット」。子どもが食したら癖になり、妻も安くなった時期を見定め、しよっちゅう買ってやる。毎日のように食べていた長男は大変満足のようにす。来年は山梨県へ行きたいと言いつつ、それには返事のできない私が...。
<浩>

立冬がすぎ朝晩冷え込みを実感。日中の陽射しは貴重な光で日溜まりは体や心に穏やかな温もりが広がっていくようです。
天気は徐々に冬型になり、木枯らしの季節がそろそろ。(今年は何月で、慌ただしさが増すものですか、気持ちを引き締めていきたい。
<ひ>